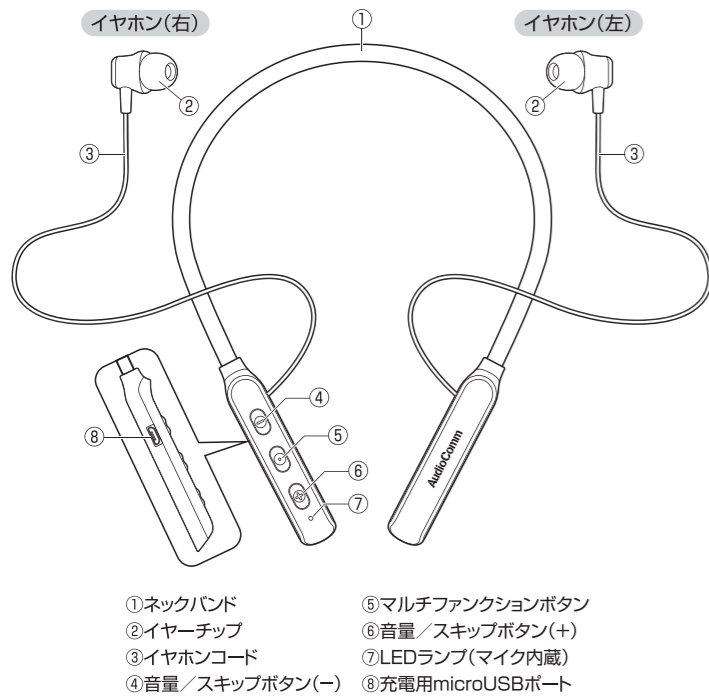


各部の名称

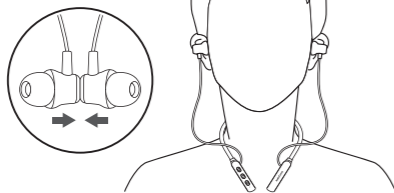


- ①ネックバンド
- ②イヤークリップ
- ③イヤホンコード
- ④音量／スキップボタン(-)
- ⑤マルチファンクションボタン
- ⑥音量／スキップボタン(+)
- ⑦LEDランプ(マイク内蔵)
- ⑧充電用microUSBポート

装着方法

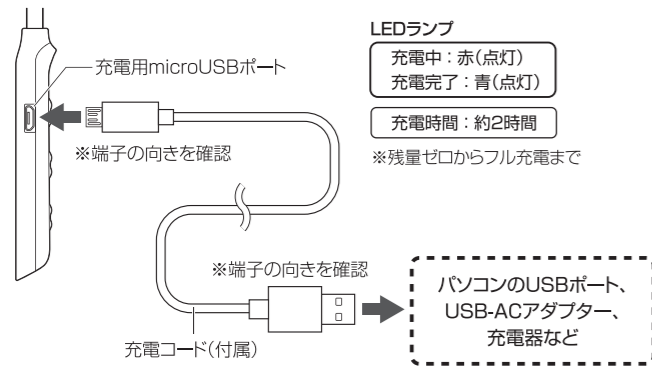
ネックバンドを首に掛け、イヤホンを耳穴に合わせて軽く入れて装着してください。

イヤホンにはマグネットが内蔵されており、耳から外したイヤホン同士を胸もとで結合させることができます。



充電のしかた

本機の充電用microUSBポートとパソコンのUSBポートなどを、付属の充電コードで接続してください。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると青に変わります。



LEDランプ

充電中：赤(点灯)
充電完了：青(点灯)

充電時間：約2時間
※残量ゼロからフル充電まで

パソコンのUSBポート、USB-ACアダプター、充電器など

ポイント

- 必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- 電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。
- パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)を解除する。
- 家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

ご注意

- 許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合がありますが、何回か充電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン/オフ



電源オン

マルチファンクションボタンを長押しします。

- 電子音流れ、LEDランプ(青)が3回点滅します。その後、LEDランプは青と赤の交互点滅になります(サーチモード)。
- はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリングのしかた」を参照して操作してください。

電源オフ

電源が入っているときに、マルチファンクションボタンを約4秒間長押しします。

- 電子音流れ、LEDランプ(赤)が一時的に点灯した後、消灯して、電源が切れます。

ヒントとご注意

- 使用中に電池残量が少なくなると、LEDランプ(赤)が点滅し、「Low battery」の音声が間隔をおいて流れます。しばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。

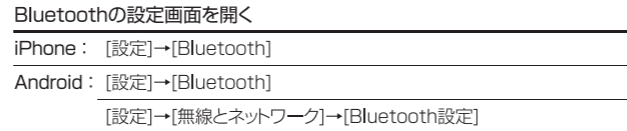
ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。

1 本機と相手側機器を1m以内に近づけ、双方の電源を入れます。

- 相手側機器→本機の順で電源を入れてください。
- 本機の電源を入ると、サーチモード(接続可能な機器を探している状態：LEDランプが青と赤の交互点滅)になります。

2 相手側機器のBluetooth設定画面で本機を登録します。



上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

Bluetooth設定画面で本機の名称「HP-W218N」が表示されたら、それを選択します。*パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。*機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

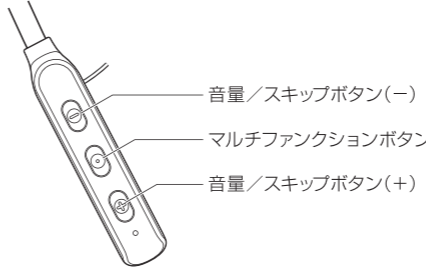
本機との接続が完了すると...

電子音流れ、LEDランプが約5秒ごとに1回青く点滅します。必要に応じて、相手側機器で再生などの操作をしてください。

ヒントとご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、それらのうちのいずれかを選択してください。その他のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- サーチモードなどBluetooth機器と未接続の状態が約5分間続くと、ペアリングがキャンセルされ、電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続が可能な状態のときは、本機の電源を入ると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- ペアリング完了後、Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまくと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないか、本機または相手側機器の電池残量が減少していないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。
- 本機は最大8台のBluetooth機器を登録できます。8台を超えて登録しようとすると古いものから削除されます。

音楽再生に関する操作



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生/一時停止	本機の電源を切る
音量／スキップボタン(+)	音量を上げる*1	次の曲を再生
音量／スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生*2

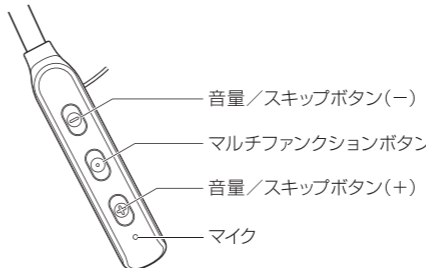
*1 最大音量に達すると電子音が鳴ります。

*2 直後にもう一度長押しすると、1つ前の曲に戻ります。

ご注意

- 相手側機器の機種や使用アプリによっては、動作のしかたが異なっていたり、機能しないことがあります。

通話に関する操作



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
音量を上げる	音量／スキップボタン(+)
音量を下げる	音量／スキップボタン(-)
リダイヤル	マルチファンクションボタンを2回続けて押す*
着信拒否	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを長押しする

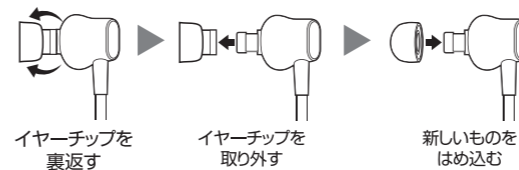
*直近の発信先へのリダイヤルになります(着信先ではないのでご注意ください)。

ヒントとご注意

- マイクを指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
- お使いの機種や設定により、以下のようなケースがあります。
 - ・通話に関するボタン動作が異なっていたり、機能しないことがあります。
 - ・スマートフォン側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したいときは、機器付属の取扱説明書を参照し、出力先を本機に設定してください。
 - ・着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後はスマートフォン側から通常の着信音が出力される場合などがあります。

イヤークリップの交換方法

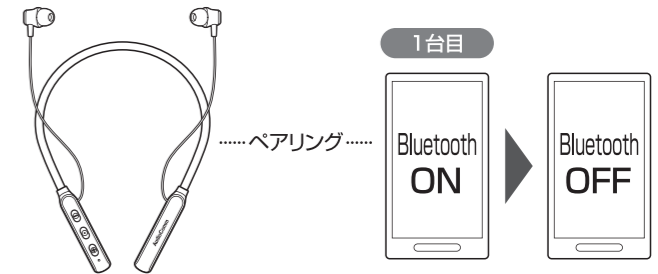
本機には3種類(S、M、L)のイヤークリップが付属しています。好みに応じてフィットするサイズを選んでご使用ください。(工場出荷時はMサイズが装着されています)。



マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台のスマートフォンを同時に待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

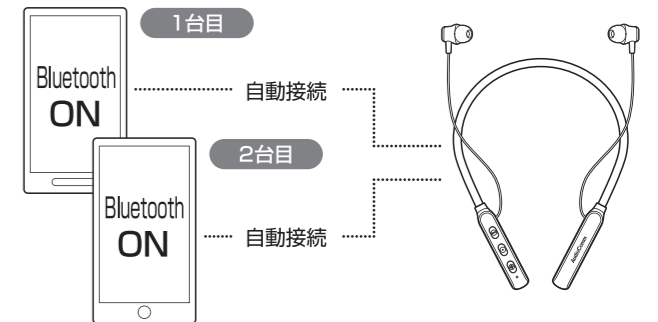
1 1台目のスマートフォンと本機をペアリングします。その後、スマートフォンのBluetooth機能をOFFにします。



2 2台目のスマートフォンのBluetooth機能をONにして、本機とペアリングします。その後、2台目のスマートフォンのBluetooth機能もOFFにします。



3 本機がサーチモードになっている状態で2台のスマートフォンのBluetooth機能を順にONにします。●2台のスマートフォンに自動接続されない場合は、スマートフォンに表示される本機名をタップして手動で接続してください。



ヒントとご注意

- どちらかのスマートフォンに着信(呼び出し)があったときは、マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 着信応答などの操作は、スマートフォンの機種などにより異なる場合があります。
- 使用環境によっては、接続が不安定になることがあります。
- マルチポイント機能が使えるのはスマートフォンのみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台のスマートフォンを3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。